

ニッセンケン分室「思いつきラボ」No. 135

ブロックプリント ワークショップ・・・



平成最後の思いつきラボになります。年度の途中ですが 新しい年を迎える気分になっています。“平成”から“令和”と新しい元号になるので当然のことかも知れませんが貴重な体験をさせてもらっています。今回の思いつきラボは前号でお知らせしているように インドの伝統技法のブロックプリント 体験ワークショップの報告原稿になります・・・インド発祥の技法と考えられていますが 日本でも古くから“更紗(さらさ)”という名称の綿プリントの生地

として馴染みのあるものではありません。手書きの更紗もあるので 更紗が全てブロックプリントというわけではありませんが インド更紗と呼ばれている生地の多くは今回のワークショップで行われた 木版の押型によるものとなります。こちらも貴重な体験となりました。

地の色は、このベージュ部分。ほかはプリントです。



▲インドのブロックプリント ピローカバー

ワークショップ概要

まず準備するものは・・・

- ・ブロックプリント 木版
- ・インク
- ・インクパッド用トレイ
- ・インクパッド用スレキ
- ・プリント用 綿 100% エコバッグ
- ・プリント用 エコバッグ中敷き用台紙
- ・乾燥用 ドライヤー
- ・固着乾燥用 アイロン

主なものはこれくらいですが なにせ初めての体験なので思いあたるものはできるだけ用意しました・・・

- ・ラテックス 手袋
- ・筆
- ・水洗用ボール
- ・木版洗浄用バケツ
- ・雑巾
- ・ウェットティッシュ
- ・タオル
- ・床汚れ防止用 ブルーシート
- ・養生テープ
- ・テーブル汚れ防止用 テーブルクロス
- ・手書き用割り箸

など未経験のワークショップなので いままでの経験で使う可能性のあるものは用意しておきました。

ブロック木版はワークショップの為にインドで購入して持ち帰ってもらいました。柄 大きさいろいろで 30 個ほどになります。



問題なのはインクです。インドから持ち帰るには重量や保管状態などを考えると無理があるので 日本で手配することにしました。とはいえ 筆者は現地のインクを扱ったことがないので今回はプリント用のインクを用意しました。ニッセンケンエコテックス認証機関の立場でもあるので 怪しいインクを使用することもできませんので 今回はイギリスのダイロン社のものを準備しました。



ヨーロッパでは有害物質規制が厳しく EU 加盟国で製造されている染料や顔料は基準を満たしている証明の基準適合マーク“CE”マークを取得していないと EU 加盟国間では流通できないことになっています。ちなみに“CE”はフランス語の「Conformité Européenne」の頭文字で欧州適合の意味になっています。英語で置き換えると「European Conformity」の意味になります。日本からの輸出品などにも基準合格品には“CE マーク”は付いていますので注意してみてくださいと電化製品などでよく見かけることができます。ということで“CE”マークの入ったインクを 14 色用意しました。時間があれば複数の色を混ぜ合わせて 混色をつくることも可能ですがワークショップの時間制限があるので今回は原色のまま使用してもらいました。

インクパッドも苦労したようで アルミのトレイにスレキを引いてインクを浸み込ませたのですが なかなかうまく木版にインクがのらずあれこれ試行錯誤してなんとか時間までに

間に合ったという状況のようでした。今回は講師が一時帰国ということもありトライアルで有志だけで時間を測ったり準備品の確認とっていたのですが 広報でも呼びかけをしてくれたことで 20名ほどの参加希望がありました。



有志企画 海外研修 × 思いつきラボ
インド伝統のブロックプリント
ワークショップ

DATE
2019年4月8日(月) 17:00~19:00

PLACE
蔵前ラボ 7F会議室

SPEAKER
笠間 理子(インド・ジャイプル事業所)、アシスタント竹中 直

CONTENTS

- ブロックプリントとは?
世界のプリント技法にも影響を与えたと言われる
木片によるプリント技術、ブロックプリントをご紹介します
- ワークショップ
ブロックプリントでオリジナルのトートバッグを作ります
(A4サイズ、数に限りがございます)
※ワークショップではインクを使用します。ワークショップには
動きやすい服装でご参加ください。

参加をご希望の方はご記名ください

3月29日(金)までに8F企画広報課 村越へご連絡ください。

なんだかだで本格的なワークショップに近いものとなりました。ブロックプリントの講話を30分ほど聞いてもらっていざ体験です。





急な準備でぶっつけ本番のワークショップとなりましたが みんな楽しそうに盛り上がっていました。木版とインクの相性とかはもう少し考えたほうが良いような気がします。インクの混ぜ合せや別の色で重ねプリントとか試したいこともできました。時間も 90 分くらいでまとめることもできるようなのでまた外部セミナーも含めて考えたいと思います。楽しい時間になりました・・・感謝です。

原稿担当：竹中 直（チヨク）

ワークショップ講師：インド・ジャイプル事業所 海外研修生 笠間 理子

準備スタッフ：本部 神崎 江麻、立石ラボ 住山 久明

参加者（順不同）：雨野 弘枝/村田 知子/王 静/石渡 由希/陳 寅柯/遠藤 あゆみ

玉川 楓/シャナサイ/千葉 美香/キンスイスライン/菊 隆代

坂口 佳織/石塚 佑衣/岩井 美樹/木内 恵理子/信木 理恵子

鳥海 那月/池原 典子/田村 亜由美